

演題名	入浴における快適な時間の提供		
施設名	ライフケアガーデン熱川	発表者(職種)	すずき だいち 鈴木 大智 (ケアワーカー)
チーム名	ライフケア温泉物語		
取り組種別	問題解決型		
分類	③患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの		
改善しようとした問題課題	午前中の120分で25名の女性入浴者の介助をする事から、脱衣場の混雑・入浴前後の待機時間が長くなってしまい、ゆっくりと入浴できず、せっかくの温泉を満喫できていない。		
改善の指標とその目標値	(指 標)入浴における快適な時間の提供 (目標値)1人当たりの入浴時間を15分から20分にする		
実施した対策	午前中(120分)の入浴時間に加え午後(60分)にも入浴を実施する。 女性入浴者を午前入浴と午後入浴に分ける。		
改善指標の対策実施前後の変化	(実施前)1人当たりの入浴時間15分。浴室は混雑している。 (実施後)1人当たりの入浴時間20分。浴室の混雑も無く快適な入浴時間となる。		
歯止めと標準化	TQMメンバーが午後にも入浴を行なえるように業務調整を行う。 TQMメンバーが介護ミーティング等で業務変更の周知をする。 入浴担当者が週1回入浴表の作成を行ない、午前入浴者と午後入浴者を振り分ける。 午前に入浴担当であった2名の職員が午後も入浴介助を行なう。		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動	チーム メンバー (職種)	1 金崎 好弘 介護福祉士 2 入澤 智美 事務 3 土屋 直美 看護師 4 板垣 悠 介護福祉士 5 鈴木 大智 ケアワーカー 6 門馬 博 介護福祉士
活動の場 ※複数選択可	②支援部門		
活動期間	平成 29 年 5 月 ~ 10 月		
リーダー名 (職種)	門馬 博 (介護福祉士)		
活動回数	16 回		

テーマ選定

項目の重みづけ	項目別 評価点×1	項目別 評価点×2	総合点				
テーマ	他職種との連携	データの取りやすさ	緊急度	重要度	部門目標	CS向上に繋がるか	
やりたい事	○	○	○	○	○	○	55
快適な入浴時間の提供	○	○	○	○	○	○	55
備品管理	△	△	△	○	○	○	45
接遇を向上させる	×	×	×	○	○	○	43
残業を減らす	×	△	○	×	△	×	25

決定

評価点

○5点

△3点

×1点

テーマ名

入浴における 快適な時間の提供

- ### テーマ選定の理由
- 女性入浴対象者が多く、脱衣室が混雑する。
 - 温泉なのにゆっくり入浴できない。
 - ゆっくり入浴したいというご入居者の声があった。
 - 入浴前後に待たせてしまう。
 - 9時から11時と時間が短い。



現状把握②

- ☆43名中平均介護度:3.3 車椅子使用者:8割
- ☆女性25人、男性18人
- ☆入浴時の軟膏処置に時間がかかる

約8割の入居者に処置の必要あり、一人当たり2分弱の処置時間を必要とする

現状把握③

25名

120分で8組 1人が15分

現状把握④

脱衣 ・約2分

洗身 ・約5~6分

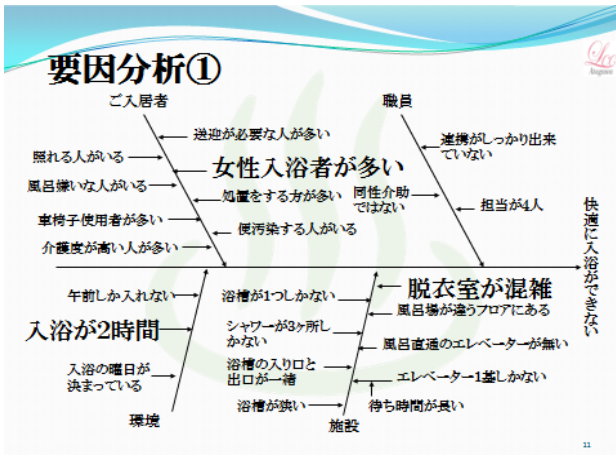
湯船 ・約1~2分

着衣 ・約5~6分

一人15分

目標設定

何を	1人当たりの入浴時間を
いつまでに	7月までに
どうする	15分⇒20分にする



要因分析②

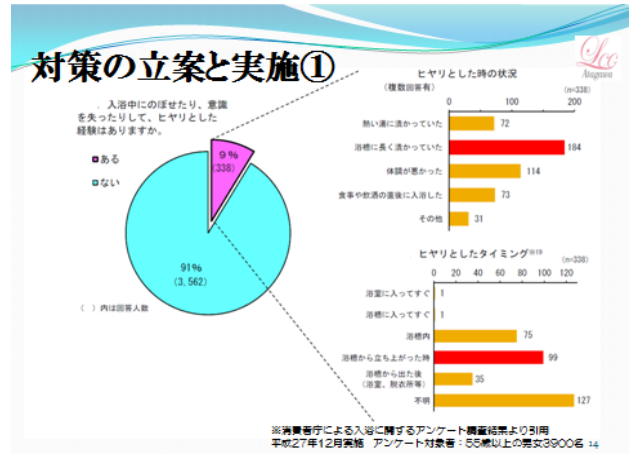
◎5点 ○3点 △1点 ×0点

	重要度	取組みやすさ	コスト	データの取りやすさ	合計
入浴時間が短い	◎	◎	◎	◎	20点
脱衣所が混雑	○	○	△	×	7点
女性入居者が多い	◎	○	◎	◎	18点
職員不足	○	×	△	×	4点

要因分析③

午前みの対応で、入浴時間が短い

女性入浴時間 $120分 \div 8組 = 15分$
 男性入浴時間 $120分 \div 6組 = 20分$



対策の立案と実施②

1 2 3 4 5 6

18名

6組

対策の立案と実施③

入浴時間 = 午前のみ (120分)

↓

午前 (120分) + 午後 (60分) (180分) 実施

対策の立案と実施④

	月・水・金	火・木・土		月・水・金	火・木・土
午前	一般浴 女性 25人 (ショートステイ7名を含む)	一般浴 男性 18人	→	一般浴 女性 18人	一般浴 男性 18人
	特浴 2人	特浴 1人		一般浴 女性 7人 (ショートステイ)	特浴 3人

効果の確認

目標 15分

↓

20分

目標達成！！

問題発生！！

問題点 実施レク4割減少

現状… レク実施回数が減少

要因… 午後の入浴時間が増えた、
担当者不明、
レク実施時間が確保が出来ない

対策の立案と実施
 ・レク担当者を明確にする
 ・短時間でできるレクメニュー表の作成

*レク=レクリエーション

レクリエーション 実施回数13回 から10回へ4割減 解決

効果の確認

無形：
 ・職員の意識の向上
 時間だけではなく質の向上にも努めた

波及：
 ・入浴時間の増加により、約1～2分程のコミュニケーション時間が増えた。
 ・ショートステイの洗濯物の紛失の減少
 2カ月で約3回⇒発生0回

入浴：標準化と管理の定着①

	何を	誰が	どこで	いつ	どのようにする
標準化	午前入浴者	TQMメンバー	TQM会議	午前と午後	振り分けを行なう
管理の定着	入浴表	入浴担当	ミーティング	週1回	作成する
教育	月・水・金の入浴	TQMメンバー	介護ミーティング	週1回	評価する

レク：標準化と管理の定着②

	何を	誰が	どこで	いつ	どのようにする
標準化	午後のレク	早番介護又は入浴担当者	各フロア等	月・水・金の午後	レクを確実に実施
管理の定着	午後のレク	早番介護又は入浴担当者	午後のミーティング	月・水・金の午後	引継ぎと実施内容を伝達する
教育	午後のレク	介護リーダー	午後のミーティング	月・水・金の午後	実施者とレク内容を確認する

反省と今後の課題

	良かった点	悪かった点
テーマ選定	ご入居者のニーズにあったテーマ選定が出来た	
現状の把握	問題点を明確にする事が出来た	
目標設定	明確な目標を立てる事が出来た	目標は達成できたが、レク減少という新たな問題が発生した
要因分析	いろいろな問題が抽出が出来た	
対策の立案	実現性の高い立案が出来た	
対策の実施	立案した内容が実施出来た	TQMメンバーから職員への周知が遅れた
効果の確認	目標通り達成出来た	
反省と今後の課題	継続可能な方策が立てられた	

ご清聴
ありがとうございました。

カメラマン:T・Yamada